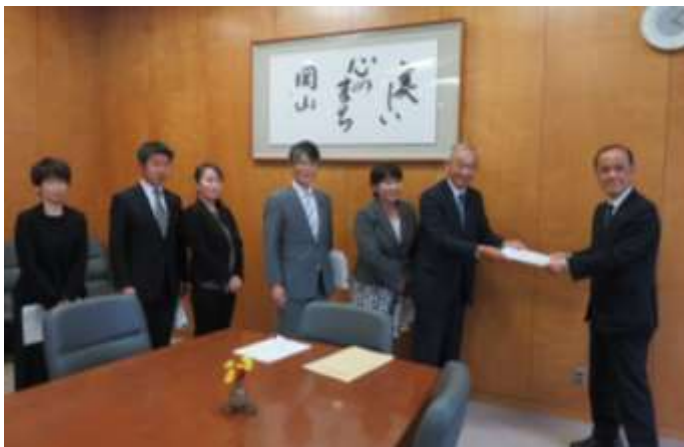


くらしを守る来年度予算を要望



民健康保険料の引き下げや、待機児童と未入園児童の解消、子どもの貧困対策、正規教員増員と少人数学級で学校の課題解決を図ることなどです。

国保料について市長は国の制度が問題であり財

市民の足を守るか デマンドタクシー開始

11月18日、日本共産党岡山市議団は大森雅夫岡山市長に571項目の来年度予算要求を行いました(写真右)。この内、重要な6項目で市長と懇談しました。国

南区迫川地区のデマンドタクシー「ブンタク」の試験運行が11月18日から始まりました。来年度末までの試験後、本格運行します。週3回、一日6便、予約制で乗り合わせる形式のタクシーが病院やスーパー、駅を回ります。

その後は教育委員会に。子どもの権利が保障される教育や少人数学級の実現で一人ひとりの子どもの負担のあり方に不安があります。

生活交通を定着させるには、利用者負担が高くなりすぎないことが大事な要素です。



公共交通がなく高齢化激しい地域なので必要性は高いのですが、料金は一回650円と高く、市



政治負担は大変と話しました。9年間値上げをストップしてきたことは評価ですが、市民が高くて払えない実態を見てほしいとうったえました。

の学びを保障する教育などの6項目で菅野和良教育長と懇談しました。総合教育会議では策定中の「教育大綱」について、学力重視が打ち出されました。子どもたちを競争にあおる学校になりかねないと懸念を伝えました。教育長は「学校が楽しいと感じる子どもの割合を一番気にしている」と答えました。

つづい

福富東町内会の防災企画で「クロスロード」というものを初めてやりました。五人で班を作り、「あなたは被災した市民。家族同然のペットの犬を避難所に連れて行くかどうか」等、正解のない質問に意見を出していました。さまざま視点で災害対応を考えられる訓練になります。(東つよし)

視察報告 他市の経験を活かします

東市議は所属委員会の行政視察で他市の取り組みを学びました。特徴的なものを報告します。



いつでも気軽に文化芸術 金沢市

11月10日、市民文教委員会「金沢市民文化芸術村」を視察しました。レンガ造りの倉庫跡を活用した施設で、演劇や音楽などの発表や練習ができます。上の写真は演劇用の舞台です。誰でも文化芸術に関われるよう、年中無休で24時間使え、利用料は安価に設定されています。費用は毎年1.8億円。稼働率は高いです。原状回復するならば基本的に何をしてもよく、自由に使われています。

岡山市では公民館のクラブ講座などで市民が芸術活

動に親しんでいます。もっと幅広い人の多彩な文化芸術活動を支える上で、金沢市のとりくみに学ぶものがあります。

データに基づく内水対策 佐賀市

11月16日、防災対応力調査特別委員会で佐賀市の水害対策を視察しました。大雨による内水被害が深刻な佐賀市は、市内全域のシミュレーションをもとに水に浸かりやすい場所を示した「内水ハザードマップ」（写真下）を作りました。経費は約2千5百万円、決して高額ではあ

りません。

岡山市も「内水ハザードマップ」を作っているようですが、市内全域のシミュレーションを行っておらず完全なものではありません。東市議は9月議会で全域のシミュレーションを求めましたが、億単位で経費がかかると後ろ向きでした。佐賀市は国のデータを自前で加工し、シミュレーションに使ったことで費用を抑えているのです。



佐賀市は「内水ハザードマップ」をもとに水害対策の費用と効果を数値化し、効率的に対策を進めています。岡山市も学ぶべき本気さです。

教育委員会は「教育振興基本計画」を今年度中に作りま

危険な教育の数値目標

の学力は計れないことを教委自身も認めています。それなのに偏差値が教育目標にされるのです。不登校の出現率減少の数値目標も出ました。学校に来

るかどうかだけを見ては、子どものぶつかっている問題の解決を遠ざけかねません。短期的な数値目標の設定でなく、先生の数を増やし、一人ひとりが学ぶ喜びを感じられる行き届いた教育こそが必要です。